



皆さん、こんにちは！地域おこし協力隊「モ」です。

2024年1月末をもって、約3年間勤めた妹背牛町役場を退職することにしました。妹背牛町での3年間は、私にとっていつまでも忘れられない貴重な時間でした。ここでは出会ったことがない色々な人に会う機会があり、やっとなることがないことを体験し、たくさんの友達ができ、良い思い出ができました。妹背牛町で過ごす時間はあまりないので複雑な心境ですが、私の3年間を振り返ります！

1年目はベトナム人技能実習生らの生活サポートと町民の橋渡し役を頑張ろうと張り切っていました。新型コロナウイルス感染症の影響で、思うような活動とやりたいことができませんでした。

でも、町民の皆さんに母国の料理を食べてもらうため、イベントで揚げ春巻きを販売する時に皆さんは喜んでたくさん買いに来てくれました。その時、私は自分の活動が妹背牛町の役に立っているかなと思いました。

あとはベトナム人の技能実習生のサポートは平日や休日に病院や歯医者などの付き添いを行い、医師との通訳をし

ました。また、役場から発信する情報で、マイナポイントの申請手続きや、ゴミカレンダー、分別表の翻訳、交通ルールマナーガイドブックの作成、商品券や健診の申請案内など、ベトナム人の方に発信する情報の翻訳をしました。

2年目と3年目は、やっとコロナが落ち着いてきましたので妹背牛町の祭りの雰囲気味わうことができました。とても楽しかったです。また、当初から考えていた学生や町民に向けベトナム文化の発信や町民の国際交流事業が徐々に出来るようになってきました。妹背牛町の魅力を広めたかったのでSNSを使った情報発信や町外の人に妹背牛町の美味しい特産品をもっと知ってもらうため、物販なども経験することが出来ました。

本当にあっという間の3年でしたが、地域おこし協力隊の仕事を通じて、いろいろな人と出会い、関わりながら活動できたことが楽しかったです。今まで、いつも温かく見守り、支えてくれて本当にありがとうございました！

令和5年度交通安全ポスターコンクール



受賞された小学生の皆さん



受賞された中学生の皆さん

もせうし Photo ニュース

妹背牛町交通安全推進委員会（会長・田中一典町長）は12月7日、令和5年度「交通安全ポスターコンクール」の表彰式を小・中学校で行いました。小学5年生から中学1年生までの3部門から計12人が受賞。表彰状を手渡した田中町長は「スマホの使用を題材にしたポスターが多く、大人への注意喚起にもなる素晴らしい作品です」と、講評しました。

小・中学生の作品はJA北いぶき妹背牛支所（金融店舗）に展示されています。

	中学1年生の部	小学6年生の部	小学5年生の部
妹背牛町長賞	おおさき れい 大崎 礼	てらち かりん 寺地 花凜	きかうえ こうすけ 坂上 倅涼
交通安全協会長賞	いしはら あやね 石原 彩音	かわしま くるみ 河嶋 来実	やまもと ほな 山本 羽菜
妹背牛町教育長賞	きたじま みなみ 北嶋 みなみ	おかべ あいり 岡部 愛莉	ささき まお 佐々木 真央
妹背牛駐在所長賞	よねつ ふうか 米津 楓果	せがわ かえで 瀬川 楓	そがめ ゆあ 十亀 結愛

アイヌ文化 体験活動で学習



アイヌ民族の文化に触れる子どもたち

アイヌ民族の文化と伝統について理解を深める授業が12月6日、妹背牛小学校で開かれ、児童が貴重な民具に触れたり、アイヌ民族の歴史と人権をテーマにした講話に耳を傾けました。講師は、アイヌ文化の伝承活動を続ける団体「中空知アイヌデイビジョン」（砂川市）の吉村圭一郎さんと門別こずえさんの2人が務めました。

この日は、アイヌ民族に伝わる歌や舞踊を体験。11月30日には、アイヌ紋様をモチーフにした切り絵にも挑戦しました。

妹背牛マーケット 冬のにぎわい



家族連れや買い物客でにぎわう会場

北空知近郊のハンドメイド雑貨などを販売する「妹背牛マーケット」が11月26日、町民会館で開かれ、町内外の来場者でにぎわいました。

冬の閑散期を盛り上げようと、町内でポップコーンの移動販売をしている野田章平さんが初めて企画。

会場には、手作り雑貨やアクセサリーの出店者、キッチンカーが集まり、家族連れが買い物や飲食を楽しみました。妹背牛マーケットは今後も開かれる予定です。

生きがい講座が開講しました！



受付開始 9:30 ~
教養講座 10:00 ~ 11:30

回	月日	テーマ	講師
3	1/11(木)	「北空知の地域医療」「お薬のいろいろ」	深川市立病院
4	1/25(木)	「妹背牛町防災情報システムの整備」	妹背牛町総務課
5	2/8(木)	「骨・カルシウムセミナー」	雪印メグミルク株式会社

※天候や感染症の状況などで、講座内容の変更、中止になる場合があります。

令和5年度の生きがい講座が12月から始まりました。各分野の専門家を講師に迎え、日常生活に役立つ情報を伝える教養講座で、本年度は令和6年2月までの計5回にわたって開催されます。

12月7日、町老人福祉センターで開講式が開かれ、主催する妹背牛町老人クラブ連合会の中易猛会長が「さまざまな場所に足を運ぶことがその人のいきがいや健康につながります」と、講座への積極的な参加を呼びかけました。

第1回目の講座には、老人クラブ連合会の会員をはじめとする町民44人が参加。令和5年10月に開設された「北空知成年後見相談センター」（深川市）の相談員が同センターの役割や、認知症などで判断能力が低下する人の財産や権利を守る「成年後見制度」について分かりやすく教えました。

12月21日には第2回目の講座が開かれ、妹背牛駐在所の寺地正典所長が「冬の交通安全と特殊詐欺防止」をテーマに説明しました。

なお、3回目以降の講座については、上の表をご確認ください。